

学習院大学で契約している様々なデータベースを活用しましょう。
データベースを使うと信頼性の高い情報が簡単に入手できます。

「データベース NAVI」へのアクセス方法

1. GLIM/OPAC にアクセスし、「学習院データベース NAVI」をクリック

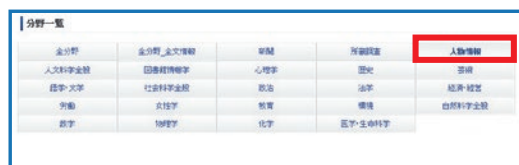


マメ知識

データベース名で探したい時は表示されているページの画面検索から探します。「CTRL」+「F」キーを同時に押すとブラウザの左上に検索 Box が表示されるので、データベース名を入れて検索します。

「CTRL」+「F」で表示されます
※「次へ（前へ）」で移動します

3. 調べたい分野のボタンをクリックすると、該当分野のデータベース一覧に移動します



COLUMN

なぜデータベース NAVI を使うの？

データベース NAVI に登録されているデータベースは、主に有料のデータベースです。（学習院大学で契約をしているので、学生の皆さんは無料で利用できます）

これらの有料データベースは、Google では得られない、専門的かつ正確な情報が検索できるので、非常に有用です。

誰でも入手できる Google 上にあふれる情報よりも、正確で専門性の高い情報を入手するため、データベース NAVI を使うようにしましょう。

2. データベース一覧画面が表示されます。お知らせや注意事項は、その都度必ず確認してください。



4. 使うデータベースが決まったら、データベース名称のリンクをクリックします。内容を確認する時は、詳細項目の「i」ボタンをクリックします。



5. データベースの詳細画面

ホーム ▶ 利用可能なデータベース ▶ 19th Century U.K. Periodicals

19th Century U.K. Periodicals

→ 一覧へ戻る

② 概要

19世紀に英国で刊行された雑誌約160誌(220万頁)を収録したデータベース。本国内でも原誌利用の難しい資料が全文検索も含め閲覧可能で、19世紀の英国社会・経済・文化史研究にとって貴重な一次資料。本学では以下のタイトルが閲覧できます。

- ・Part 1: New Readership
- ・Part 2: Empire

学外からアクセスされる場合は、「リモート接続」ボタンをクリックしてください。

補足: 使いたいデータベースの名称をクリックすると直接アクセスできます。

詳細

名称	① 19th Century U.K. Periodicals
資料タイプ	③ 雑誌記事(論文)
主な言語	④ 外国語
利用範囲	⑤ 学内、学外
同時アクセス数	⑥ 無制限
ログアウト要否	⑦ 不要
備考	⑧ 利用ガイドはこちら。

⑨ 接続

リモート接続

全分野_全文情報

名称	資料タイプ	主な言語	利用範囲	同時利用数	ログアウト	詳細	学外
① 19th Century U.K. Periodicals	③ 雑誌記事(論文)	④ 外国語	⑤ 学内、学外	⑥ 無制限	⑦ 必要	⑧ 必要	⑨ 学外

- ①**名称**: データベースの名前です。学内PCから利用の際は、詳細項目のデータベース名をクリックすると、直接該当データベースのトップページにアクセスできます。

- ②**概要**: これを読んで、自分が知りたい内容が入手できるデータベースかどうかの判断材料としてください

- ③**資料タイプ**: 検索対象の資料タイプを表します

- ④**主な言語**

- ⑤**利用範囲**: データベースが利用できる場所を表しています

(例1) 学内→学習院大学(目白キャンパス)内であればどこからでも利用できます

(例2) 無料公開→インターネット上で公開されているサイトです。学内外問わず、どこからでも利用できます。

(例3) 学外→大学所属者のうち、利用の認められた方のみ学外から利用できます(P.26-27 参照)

- ⑥**同時アクセス(利用)数**: データベースを同時に使えるユーザー数です

(例1) 「4」→同時に利用できるユーザーは4人です

(例2) 「無制限」→同時に何人でも利用できます

- ⑦**ログアウト要否**: データベースの利用を終了するときの手続きについて表しています

(例1) 「必要」→データベース画面内の「ログアウト」等のボタンを押して利用を終了してください

(例2) 「不要」→ウィンドウ右上の「×」ボタンを押して利用を終了してください

- ⑧**備考**: 利用上の注意点やマニュアルへのリンク等を表示しています

- ⑨**接続**: 学外からデータベースを利用するときをクリックします(P.26-27 参照)